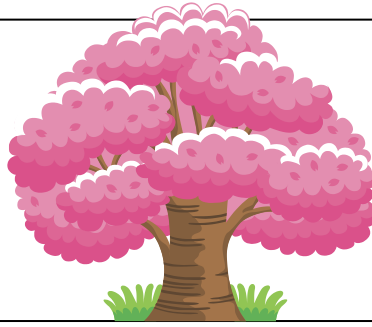


産地直送便



発行（農）山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2014. 4. 1 発行
責任者 星 隆之

～生産工程管理者認定講習会～

有機米部会部長 目黒 祥一

こんにちは、有機米部会の目黒です。今回は私たちが取り組んでいる JAS 有機栽培米の、技術面ではなく法律に関するお勉強のことを簡単にご紹介したいと思います。



私たちが取り組んでいる「JAS 有機栽培」は農水省が定める「有機農産物の日本農林規格（有機 JAS 法）」という法律に則った栽培管理をしないてはいけません。そのため生産者は国が定める認定機関の講習会を年 1 回受講することが決まりとなっています。この講習会では法律の解釈や運用から書類の記入方法まで事細かな説明があるのですが、私たちも法律を破るわけにはいかないので必死に勉強しています。

JAS 有機栽培って雑草対策以外にもいろいろとあるんですよ～(^_^;)

ちなみに JAS 有機栽培と無農薬栽培を同じものと思われる方もけっこう多いのですが、無農薬栽培のほうは栽培方法等が法律の厳しい制限を受けないという点が大きな違いになると思います（JAS 有機と同等のものもあれば全然違うものまであるという意味）。生産者にとって JAS 有機の規格は細かすぎて大変なことも多いのですが、JAS シール（写真）が貼ってあるお米はその厳しい規格をクリアしたという証明になります。

このシール、まだ残念ながら世間的な認知度は低いようですが、実はそんな努力も含まれているということをご理解いただければ幸いです。



早いものでもう 4 月、そろそろ種まきが始まります。

今年も有機米づくりに頑張っていきますので皆さまたくさん食べてくださーい！

～山形デスティネーションキャンペーン開催～

「DCキャラクター きてけろくん」

2014年6月14日～9月13日にかけて、山形DCが開催されます。本県を訪れるお客様や県民の皆さんが、山形的美しさに出会い、心も体も癒され、美しく元気になるような旅を楽しんでいただけるよう県民あげておもてなしを行います。この機会に、ぜひ山形に遊びに来て下さい。



山形日和。

理事、野菜部会部長 島崎栄一

温湯処理

米作りは昔から「八十八の手間がかかる」と言われていますが、最初から2番目か3番目の仕事が「温湯処理」です。簡単に言うと「お米の種（種籾）の殺菌消毒」です。通常の栽培方法では農薬を使うのですが、私たちは農薬を使わずお湯に浸すことで殺菌処理しています。種籾には様々な菌が付着していて、その中には成育の中で悪さをするものもあります。



専用の機械を共同で使用し、より安全な米作りに取り組んでいます。

さあ、米作りがはじまりました！また今年もがんばります！

広報委員会委員長 渡沢 寿

産直米変更連絡用紙 山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。
急な変更等是对応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コードNO _____ FAX送信日 月 日

氏名 _____ 様 _____ 氏 _____

- お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
- 月～ 月までお休み
- 変更連絡 月 日お届け分の変更
- ～変更内容～

